

## 2021年度（令和3年度）決算

### 1. はじめに

2021年度は、2020年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響から、医療収入、医療収支が苦戦を強いられ、2020年度からは増加したもののコロナ禍以前の水準までには回復しませんでした。感染対策補助金については2020年度に続きコロナ対応が評価され交付を受けることができました。結果、基本金組入前当年度収支差額（利益）が予算を上回る決算となりました。

### 2. 資金収支計算書

施設関係支出は22億円、設備関係支出は29億円でした。施設関係の主な支出は、建物が本院関連で9億円をはじめとして14億円、建設仮勘定8億円の支払い、設備関係の主な支出は医療器械18億円、システム5億円の支払いでした。この結果、次年度繰越金は509億円と前年度比64億円増加しました。これ以外に本学は有価証券を307億円保有している為、前期末の現金預金有価証券残高は816億円となり、2026年開院予定の第三病院建築には現状、懸念ない状態にあります。

### 3. 事業活動収支計算書

2020年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、医療収入は989億円（予算比▲16億円・同比▲1.6%）、医療収支（医療粗利益）は578億円（予算比▲33億円・同比▲5.6%）と予算に届きませんでした。医療経費は、410億円（予算比+17億円・同比+10.4%）と予算を超えました。また、感染対策補助金については2020年度に続きコロナ対応の評価を受け、86億円交付されました。結果、基本金組入前当年度収支差額は63億円（予算比+57億円）と予算を上回ることができました。

### 4. 貸借対照表

当年度収支差額による純資産の増加63億円は、流動資産の現預金64億円の増加となっています。固定資産の内、建物、建設仮勘定を合計した23億円の減少は長期借入金の約定返済18億円からなり、医療器械、教具など減価償却による16億円の減少は未払、長期未払金の減少分11億円からなる部分と固定資産の一部有価証券の増加になりました。

### 5. 決算開示方法について

平成16年度の私立学校法の改正に伴い、本学の事業報告書、法人誌「The JIKEI」、インターネットホームページでの決算報告は文部科学省への届出フォームで開示しており、本内容と異なります。